

# NY マーケットレポート (2018年12月6日)

## 2018年12月6日 (木)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	21501.62	-417.71	-5.55%	USD/JPY	112.68	113.21	112.24
ハンセン指数	26156.38	-663.30	-12.58%	EUR/JPY	128.24	128.45	127.68
上海総合	2605.18	-44.62	-21.23%	GBP/JPY	144.04	144.16	143.26
韓国総合	2068.69	-32.62	-16.16%	AUD/JPY	81.51	82.32	80.94
豪ASX200	5657.65	-10.70	-6.72%	NZD/JPY	77.52	78.10	77.17
インドSENSEX	35312.13	-572.28	3.69%	EUR/USD	1.1381	1.1412	1.1321

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	6704.05	-217.79	-12.80%	NY GOLD	1243.60	+1.00	-5.0%
仏CAC40	4780.46	-163.91	-10.02%	NY 原油	51.49	-1.40	-14.4%
独DAX	10810.98	-389.26	-16.31%	CBOTコーン	382.75	-1.50	6.1%
スペインIBX35	8764.50	-247.70	-12.74%	CRB指数	181.30	-2.449	-6.5%
イタリアFTSE MIB	18643.83	-684.87	-14.69%	ドル指数先物	96.771	-0.299	5.1%
南ア全株指数	50806.06	-903.10	-14.62%	VIX指数	21.19	+0.45	91.9%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	24947.67	-79.40	0.92%	CBOE Bitcoin(先物・期近)	3580	3790
S&P500	2695.95	-4.11	0.84%	CME Bitcoin(先物・期近)	3565	3685
NASDAQ	7188.26	+29.83	4.18%	Ripple (BSTP)	0.322	0.335
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%	Ethereum (BSTP)	95.06	101.70
トロント総合	14937.00	-245.63	-7.85%	Bitcoin Cash	114.67	130.20
ボルサ指数	41987.00	+91.73	-14.93%			
ボヘスバ指数	88846.48	-193.31	16.29%			

\*一部暫定値

### 12/7 経済指標スケジュール

08:30	【日本】10月家計調査消費支出
08:30	【日本】11月外貨準備高
09:00	【日本】10月毎月勤労統計[現金給与総額]
14:00	【日本】10月景気一致CI指数
14:00	【日本】10月景気先行CI指数
14:30	【オーストラリア】11月外貨準備高
15:00	【南アフリカ】11月外貨準備高
16:00	【ドイツ】10月鉱工業生産
16:00	【ドイツ】3Q労働コスト
16:00	【ノルウェー】10月鉱工業生産
16:45	【フランス】10月貿易収支
16:45	【フランス】10月経常収支
16:45	【フランス】10月鉱工業生産
16:45	【フランス】10月製造業生産
17:30	【英国】11月ハリファックス住宅価格
17:30	【スウェーデン】11月財政収支
19:00	【欧州】3Q GDP
22:30	【米国】11月失業率
22:30	【米国】11月非農業部門雇用者数
22:30	【米国】11月平均時給
22:30	【カナダ】11月失業率
22:30	【カナダ】11月雇用ネット変化率
00:00	【米国】10月卸売在庫
00:00	【米国】10月卸売売上高
00:00	【米国】12月ミンガン大学消費者信頼感指数

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.137%	-0.139%
5年債	-0.118%	-0.114%
10年債	0.064%	0.066%
30年債	0.805%	0.791%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.236%	0.277%
英国10年債	1.246%	1.315%
フランス10年債	0.660%	0.680%
米国債利回り		
2年債	2.760%	2.795%
3年債	2.766%	2.805%
5年債	2.753%	2.787%
7年債	2.818%	2.840%
10年債	2.895%	2.914%
30年債	3.162%	3.173%

### 12/7 主要会議・講演・その他予定

・ドイツCDU党大会 (～8日)

## NY 市場レポート

### « NY 市場概況 »

NY 市場では、中国通信大手幹部が逮捕されたことを受けて、米中の対立が激化するとの懸念が引き続き材料視され、リスク回避の動きが先行した。また、米貿易収支で赤字額が 2008 年 10 月以来の大幅赤字となったことや、米主要株価が軒並み大幅下落となったことも加わり、ドル円・クロス円は一段の下落となった。その後は、米紙報道などを受けて、米国の利上げペースの減速観測を背景に、株価が反発して下げ幅を大幅に縮小したことから、ドル円・クロス円も値を戻した。

### 主要な米経済指標結果

**11 月 ADP 雇用統計 17.9 万人（予想 19.5 万人・前回 22.7 万人⇒22.5 万人）**

11 月の米 ADP 雇用統計では、雇用者数の伸びが+17.9 万人となり、市場予想の 19.5 万人を下回った。建設業や製造業を含む財生産部門の雇用は+1.6 万人と前月から減少、サービス業も+16.3 万人減少した。500 人以上の大企業は+1.3 万人、50-499 人の中堅企業で+11.9 万人、49 人以下の小企業は+4.6 万人となった。

**新規失業保険申請件数 23.1 万件（予想 22.5 万件・前回 23.4 万件⇒23.5 万件）**

**失業保険継続受給者数 163.1 万人（予想 169.5 万人・前回 171.0 万人⇒170.5 万人）**

米失業保険申請件数は、前週比-0.4 万件の 23.1 万件となり、4 週ぶりの減少となった。ただ、市場予想を上回り、予想ほどの改善は見られなかった。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+4250 件の 22.8 万件となった。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-7.4 万人の 163.1 万人となった。受給者数の 4 週移動平均は、前週比+250 人の 166.7 万人となった。受給者比率は、前週から-0.1 ポイント低下の 1.1%だった。

**10 月貿易収支 -555 億 USD（予想 -550 億 USD・前回 -540 億 USD⇒-546 億 USD）**

10 月の米貿易収支では、財とサービスを合わせた赤字額は 555 億ドルとなり、2008 年 10 月以来の大幅赤字となった。輸入が過去最高に拡大した一方、輸出がほぼ横ばいだったことが影響した。輸出は 2110 億ドルとなり、石油製品や消費財の輸出が過去最高を記録、輸入は 2665 億ドルと自動車と消費財の輸入が過去最高を記録した。また、国地域別では、中国が前月比+7.1%の 431 億 200 万ドルと過去最大を更新、日本が+57.0%の 61 億 6600 万ドル、ドイツが+29.3%の 62 億 700 万ドル、メキシコは-7.1%の 71 億 6700 万ドルとなった。

## 11月ISM非製造業景況指数 60.7（予想 59.0・前回 60.3）

11月の米ISM非製造業景況指数は、前月から0.4ポイント上昇の60.7となり、市場予想の59.2を上回った。景況指数は65.2（前月62.5）、新規受注が62.5（61.5）、仕入れ価格が64.3（61.7）、在庫が57.5（56.0）と上昇したものの、雇用は58.4（59.7）と低下した。11月は17業種が景況拡大、1業種が業況縮小を報告した。

### ダウ平均株価は一時780ドル安も下げ幅大幅縮小

米株式市場は、中国企業ファーウェイの幹部拘束を受けて米中貿易摩擦の再燃に対する懸念が強まり、リスク回避の売りが優勢となり、主要株価は軒並み大幅下落となった。その後は、FRBが来年以降の利上げペースを落とすとの観測が広がり、買い戻しの動きが強まり、下げ幅を急速に縮めた。ダウ平均株価は、序盤から下げ幅が拡大する展開となり、4日と比べ、一時780ドル安まで下落した。その後は下げ幅を縮小する動きが加速し、終盤には79ドル安まで下げ幅を縮小した。一方、ハイテク株中心のナスダックは4日と比べ174ポイント安（-2.4%）まで下落したものの、その後は下げ幅を縮小し、終盤にはプラスに転じ、29ポイント高で終了した。

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	資本財	-1.32%	1	ボーイング	-3.09%
2	石油・ガス	-1.21%	2	JPモルガン・チェース	-1.90%
3	素材	-1.01%	3	エクソン	-1.31%
4	ヘルスケア	-0.33%	4	シェブロン	-1.13%
	テクノロジー	0.53%		シスコシステムズ	2.20%

出所：データを基にSBILMが作成

### ドル円・クロス円は下落も、終盤には下げ幅縮小

米国の対イラン制裁に違反した疑いで中国通信大手ファーウェイ幹部の逮捕されたことを受けて、米中の対立が激化するとの懸念が引き続き材料視され、リスク回避の動きが意識され、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。また、米貿易収支で対中赤字が過去最高を記録し、米中通商問題に対する懸念が強まったことで米主要株価が軒並み大幅下落したことも圧迫要因となった。その後、米紙がFRBは来年様子見アプローチのシグナルを送るかどうかを検討していると報じたことや、FF金利の変更される可能性を確率で表した数値である「Fedウォッチ」で、来年の利上げ回数が2回から1回に減少したことが示

されるなど、市場が織り込む米利上げ確率の低下を受けて、株価は下げ幅を縮小したことから、ドル円・クロス円も値を戻した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。